

会社説明会

～平成26年3月期 第2四半期～

Yamagata

Miyagi



じもと
HOLDINGS



きらやか銀行



仙台銀行

1. 平成26年3月期第2四半期決算の状況

①損益の状況	…	1
②コア業務純益の増減要因	…	3
③貸出金の状況	…	4
④預金(譲渡性預金を含む)の状況	…	5
⑤預かり資産の状況	…	6
⑥有価証券の状況	…	7
⑦各種利回り・利鞘の状況	…	8
⑧経費の状況	…	9
⑨金融再生法開示債権の状況	…	10
⑩自己資本比率の状況	…	11
⑪平成26年3月期業績予想	…	12

2. 両行における取組みについて

①仙台銀行のトピックス	
～アクティブリスニングによる本業支援～	… 13
～震災復興支援に向けた取組み～	… 14
②きらやか銀行のトピックス	
～アクティブリスニングによる本業支援～	… 15
～子会社を活用した事業再生支援の取組み～	… 16

3. じもとホールディングスの取組みについて

①じもとホールディングスの 戦略について	… 17
②じもとホールディングスのトピックス	
～協調融資による取組み～	… 18
～両行コールセンターの相互活用開始～	… 19
～両行合同での取組み～	… 20
③じもとグループの内部管理態勢	… 21

【参考】じもとホールディングスの 預貸金状況(平成25年9月末)	… 22
-------------------------------------	------

1. 平成26年3月期 第2四半期決算の状況

①損益の状況

(1)じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期 (参考)		
			前年同期比	増減率	
連結経常収益	-	21,130	-	-	33,838
連結経常利益	-	3,197	-	-	2,036
連結中間純利益	-	3,153	-	-	1,950

○じもとホールディングスの連結経常収益は211億30百万円、連結経常利益は31億97百万円、連結中間純利益は31億53百万円となりました。

(2)2行合算

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期 (参考)		
			前年同期比	増減率	
経常収益	22,120	21,073	△ 1,047	△ 4.7	43,727
業務粗利益	16,591	16,366	△ 225	△ 1.3	33,937
資金利益	15,083	15,150	66	0.4	30,436
役務取引等利益	1,199	1,299	99	8.3	2,738
その他業務利益	308	△ 82	△ 391	-	761
うち国債等債券損益	303	△ 90	△ 394	-	506
経費(除く臨時処理分)	12,957	13,077	120	0.9	25,595
うち人件費	6,242	6,246	3	0.0	12,492
うち物件費	6,041	6,095	53	0.8	11,744
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,634	3,288	△ 346	△ 9.5	8,342
コア業務純益	3,330	3,378	48	1.4	7,835
一般貸倒引当金繰入額	△ 54	△ 206	△ 151	-	△ 734
業務純益	3,689	3,494	△ 194	△ 5.2	9,076
臨時損益	△ 949	△ 72	877	-	△ 5,502
うち不良債権処理額	694	489	△ 204	△ 29.5	2,762
うち個別貸倒引当金繰入額	224	280	56	25.2	1,158
うち貸倒引当金戻入益	1,092	995	△ 97	△ 8.9	2,130
うち株式等関係損益	△ 264	94	359	-	△ 498
経常利益	2,739	3,422	682	24.9	3,573
特別損益	△ 83	△ 51	31	-	△ 157
中間純利益	2,700	3,251	551	20.4	3,424
与信関係費用	△ 479	△ 714	△ 235	-	△ 134

○2行合算の経常収益は、前年同期比10億47百万円減少の210億73百万円(増減率△4.7%)となりました。

○銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益の増加等により、前年同期比48百万円増加の33億78百万円(増減率1.4%)となりました。

○経常利益は前年同期比6億82百万円増加の34億22百万円、中間純利益は前年同期比5億51百万円増加の32億51百万円となりました。

① 損益の状況

(3) きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	12,913	12,177	△ 735	△ 5.6
業務粗利益	10,288	9,776	△ 511	△ 4.9
資金利益	9,577	9,312	△ 264	△ 2.7
役務取引等利益	564	649	85	15.0
その他業務利益	145	△ 186	△ 331	-
うち国債等債券損益	143	△ 191	△ 334	-
経費(除く臨時処理分)	7,630	7,495	△ 134	△ 1.7
うち人件費	3,775	3,840	64	1.7
うち物件費	3,481	3,286	△ 195	△ 5.6
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,658	2,281	△ 376	△ 14.1
コア業務純益	2,514	2,472	△ 42	△ 1.6
一般貸倒引当金繰入額	△ 54	△ 206	△ 151	-
業務純益	2,713	2,487	△ 225	△ 8.3
臨時損益	△ 1,969	△ 1,008	960	-
うち不良債権処理額	653	431	△ 221	△ 33.9
うち個別貸倒引当金繰入額	224	280	56	25.2
うち株式等関係損益	△ 181	△ 15	166	-
経常利益	743	1,479	735	98.9
特別損益	△ 13	△ 19	△ 6	-
中間純利益	765	1,366	601	78.5
与信関係費用	598	222	△ 375	△ 62.8

- 経常収益は、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したものの、貸出金利息が減少したことにより、前年同期比7億35百万円減少の121億77百万円(増減率△5.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加し、物件費は減少したものの、資金利益が減少したことにより、前年同期比42百万円減少の24億72百万円(増減率△1.6%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比3億75百万円減少の2億22百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億35百万円増加の14億79百万円、中間純利益は前年同期比6億1百万円増加の13億66百万円となり、過去最高となりました。

(4) 仙台銀行単体

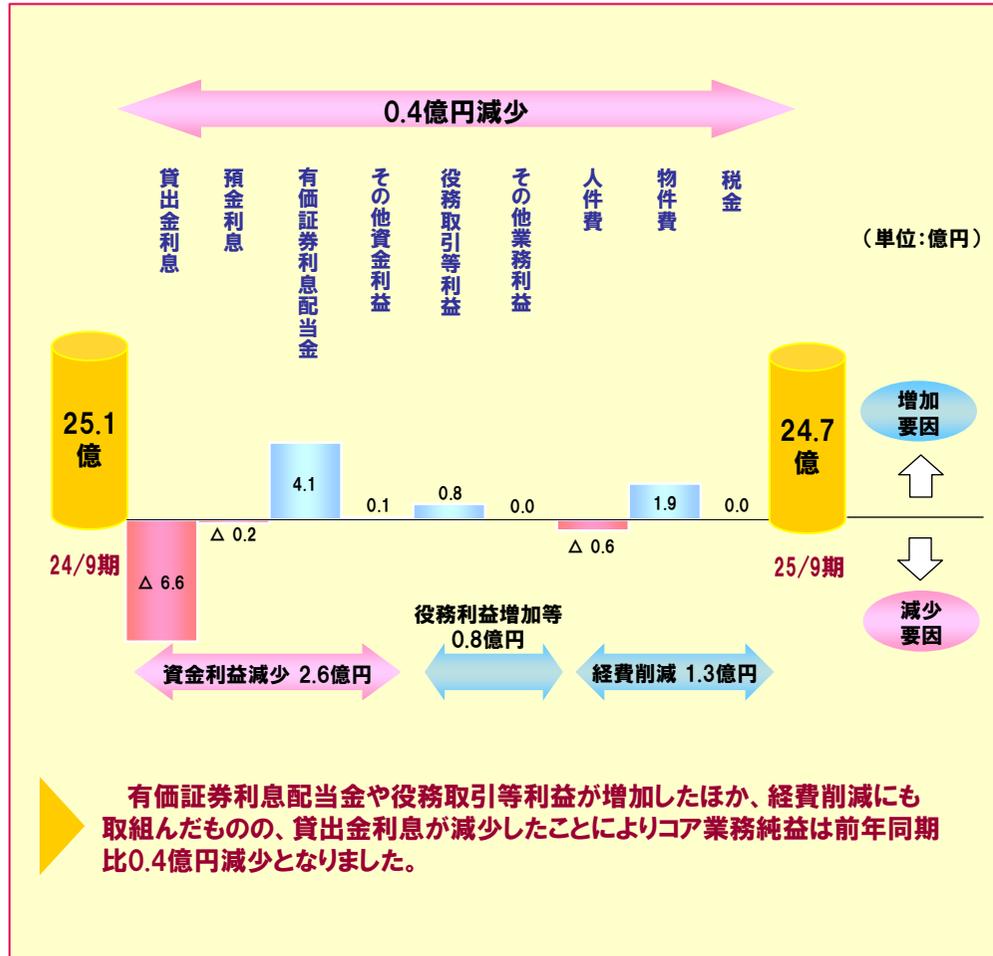
(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	9,207	8,895	△ 311	△ 3.3
業務粗利益	6,303	6,589	286	4.5
資金利益	5,505	5,837	331	6.0
役務取引等利益	634	649	14	2.2
その他業務利益	163	103	△ 59	△ 36.6
うち国債等債券損益	160	100	△ 59	△ 37.1
経費(除く臨時処理分)	5,326	5,582	255	4.8
うち人件費	2,466	2,406	△ 60	△ 2.4
うち物件費	2,559	2,808	249	9.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	976	1,007	30	3.1
コア業務純益	815	906	90	11.0
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
業務純益	976	1,007	30	3.1
臨時損益	1,019	936	△ 83	△ 8.1
うち不良債権処理額	40	57	16	41.3
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	1,092	995	△ 97	△ 8.9
うち株式等関係損益	△ 83	109	192	-
経常利益	1,996	1,943	△ 52	△ 2.6
特別損益	△ 69	△ 32	37	-
中間純利益	1,934	1,884	△ 49	△ 2.5
与信関係費用	△ 1,077	△ 937	140	-

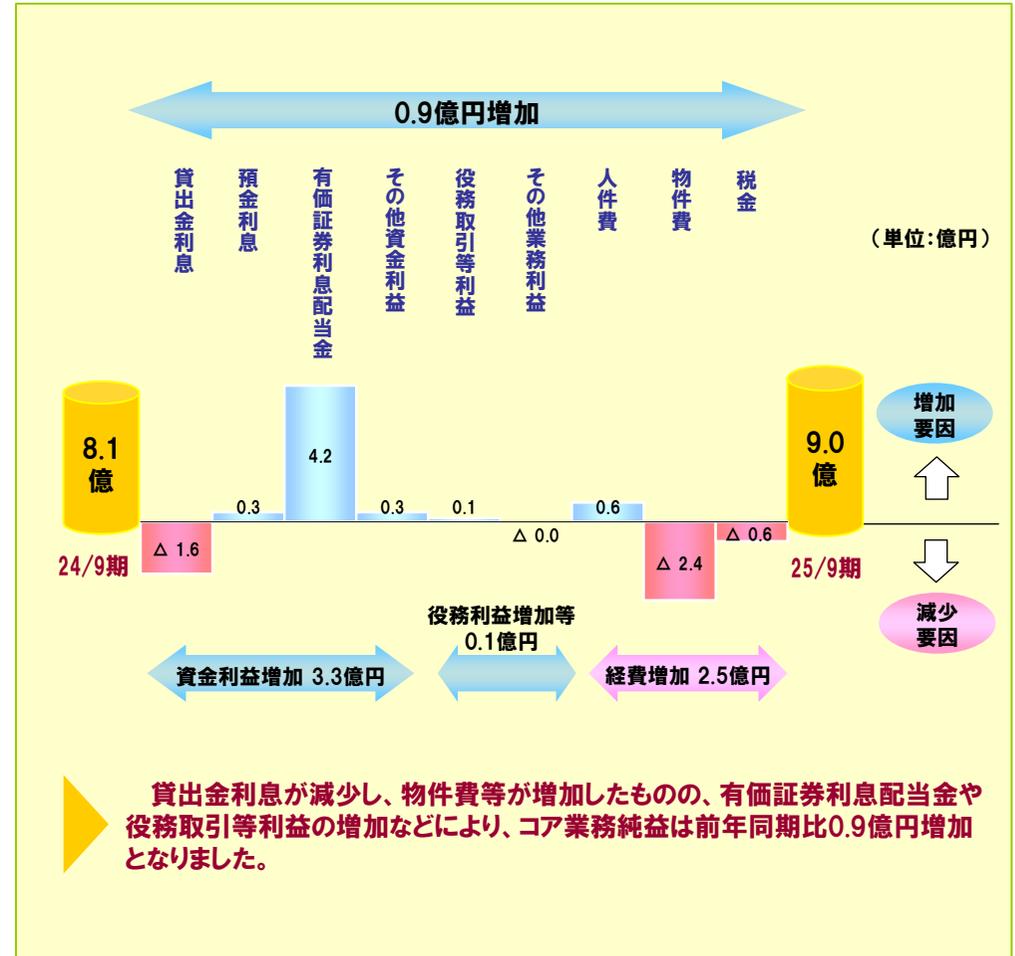
- 経常収益は、有価証券利息配当金が増加したものの、貸出金利息や国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比3億11百万円減少の88億95百万円(増減率△3.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加したものの、資金利益が増加したことなどから、前年同期比90百万円増加の9億6百万円(増減率11.0%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益9億95百万円の計上により、9億37百万円の戻入れとなりました。
- この結果、経常利益は前年同期比52百万円減少の19億43百万円、中間純利益は前年同期比49百万円減少の18億84百万円となり、前年同期並みの水準となりました。

②コア業務純益の増減要因

(1) きらやか銀行

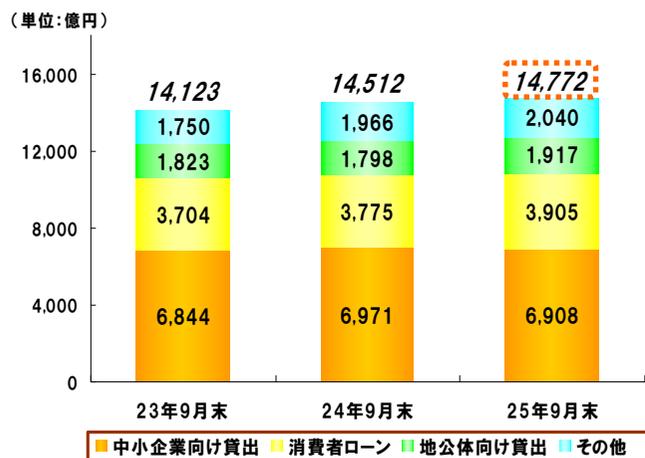


(2) 仙台銀行

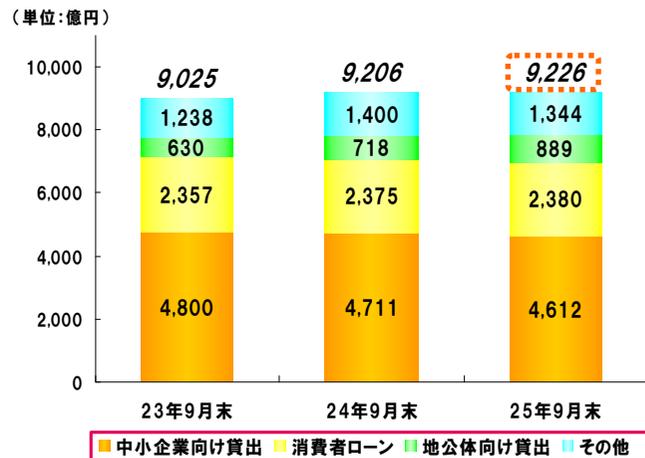


③貸出金の状況

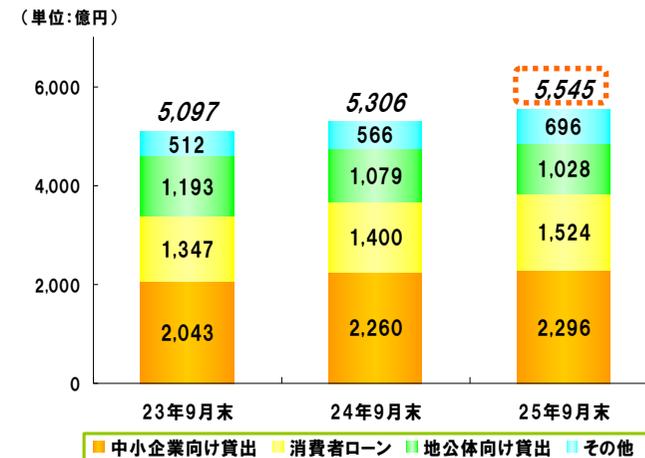
(1) 2行合算



(2) きらやか銀行



(3) 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,451,204	1,477,267	26,063	1.7
うち中小企業向け貸出残高	697,160	690,883	△ 6,277	△ 0.9
うち消費者ローン	377,521	390,573	13,052	3.4
うち住宅ローン	355,063	368,049	12,985	3.6
うち地方公共団体向け貸出	179,829	191,761	11,932	6.6

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
貸出金(末残)	920,601	922,688	2,087	0.2
うち中小企業向け貸出残高	471,100	461,214	△ 9,886	△ 2.0
うち消費者ローン	237,516	238,088	572	0.2
うち住宅ローン	225,260	226,010	749	0.3
うち地方公共団体向け貸出	71,893	88,945	17,052	23.7

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
貸出金(末残)	530,603	554,578	23,975	4.5
うち中小企業向け貸出残高	226,060	229,669	3,609	1.5
うち消費者ローン	140,004	152,484	12,480	8.9
うち住宅ローン	129,803	142,038	12,235	9.4
うち地方公共団体向け貸出	107,936	102,816	△ 5,119	△ 4.7

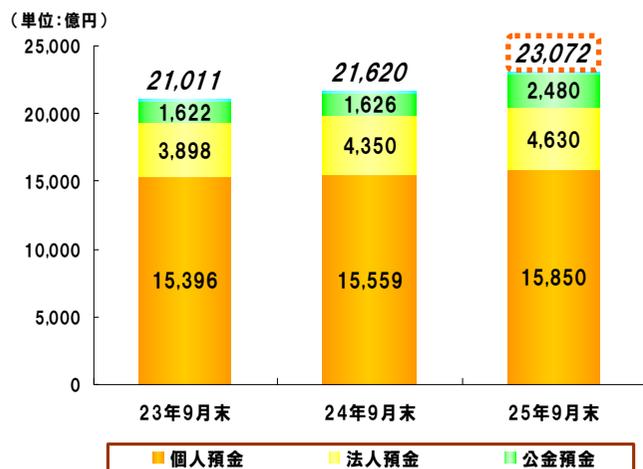
○ 2行合算の貸出金残高は、前年比260億63百万円増加の1兆4,772億67百万円となりました。

- 貸出金残高は、前年比20億87百万円増加の9,226億88百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、前年比98億86百万円減少の4,612億14百万円となりましたが、営業戦略を長期融資を中心とした対応へと切替えたことが主な要因であり、中小企業等貸出比率は80.16%と依然高い比率を維持しております。
- 消費者ローンは、前年比5億72百万円増加の2,380億88百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、前年比170億52百万円増加の889億45百万円となりました。

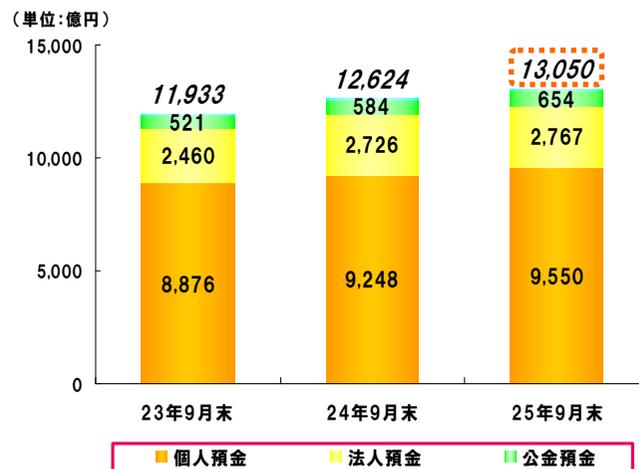
- 貸出金残高は、前年比239億75百万円増加の5,545億78百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、前年比36億9百万円増加の2,296億69百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、前年比124億80百万円増加の1,524億84百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、前年比51億19百万円減少の1,028億16百万円となりました。

④預金(譲渡性預金を含む)の状況

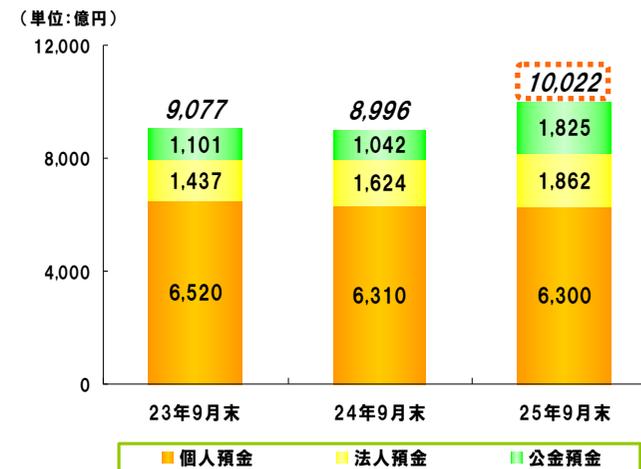
(1) 2行合算



(2) きらやか銀行



(3) 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(未残)	2,162,018	2,307,231	145,212	6.7
うち個人預金	1,555,974	1,585,085	29,110	1.8
うち法人預金	435,071	463,000	27,929	6.4
うち公金預金	162,651	248,041	85,389	52.4

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(未残)	1,262,412	1,305,007	42,595	3.3
うち個人預金	924,887	955,030	30,143	3.2
うち法人預金	272,606	276,770	4,163	1.5
うち公金預金	58,414	65,480	7,065	12.0

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(未残)	899,605	1,002,223	102,617	11.4
うち個人預金	631,086	630,054	△ 1,032	△ 0.1
うち法人預金	162,464	186,230	23,765	14.6
うち公金預金	104,237	182,561	78,324	75.1

○ 2行合算の預金残高は、前年比1,452億12百万円増加の2兆3,072億31百万円となりました。

○ 預金残高は、個人・法人・公金全ての預金が増加したことにより、前年比425億95百万円増加の1兆3,050億7百万円となりました。

○ 個人預金は、両行合同で実施したキャンペーン預金への預入増加などにより、前年比301億43百万円増加の9,550億30百万円となりました。

○ 法人預金は、震災以降、企業の手元流動性預金が増加していること等から、前年比41億63百万円増加の2,767億70百万円となりました。

○ 公金預金は、前年比70億65百万円増加の654億80百万円となりました。

○ 預金残高は、公金預金や法人預金の増加により、前年比1,026億17百万円増加の1兆22億23百万円となりました。

○ 個人預金は、5月のシステム移行に伴い一部預金科目の移動があったことなどから、前年比10億32百万円減少の6,300億54百万円となりました。

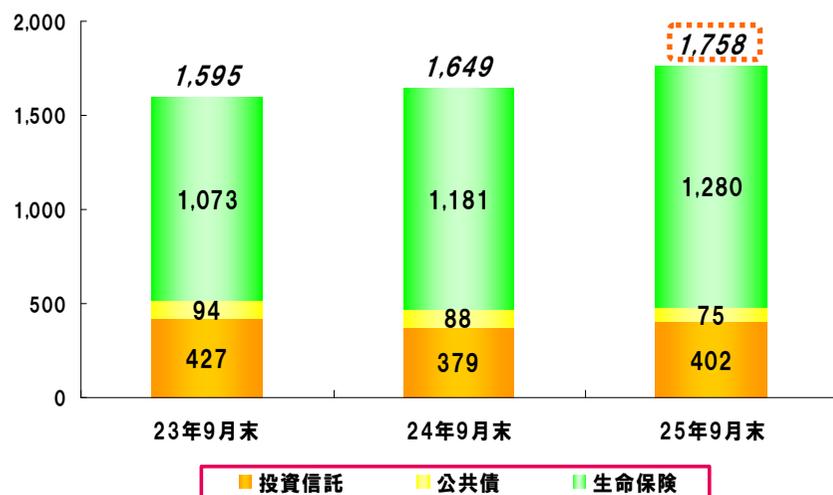
○ 法人預金は、震災以降、企業の手元流動性預金が増加していること等から、前年比237億65百万円増加の1,862億30百万円となりました。

○ 公金預金は、前年比783億24百万円増加の1,825億61百万円となりました。

⑤ 預かり資産の状況

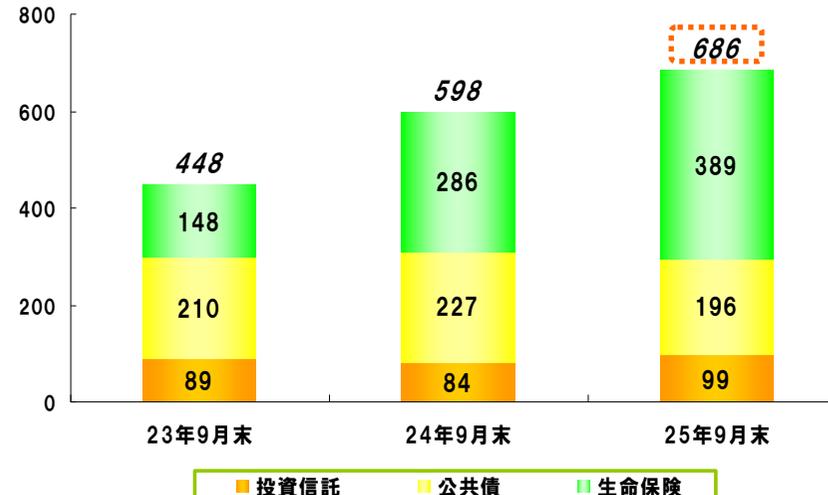
(1) きらやか銀行

(単位:億円)



(2) 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年 9月末比	増減率
預かり資産(未残)	164,949	175,887	10,937	6.6
うち投資信託	37,987	40,250	2,263	5.9
うち公共債(国債等)	8,826	7,599	△ 1,226	△ 13.9
うち生命保険	118,135	128,037	9,901	8.3

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

- 預かり資産残高は、前年比109億37百万円増加の1,758億87百万円となりました。
- 投資信託は、株式上昇に伴う販売額の増加や基準価額の上昇などから、前年比22億63百万円増加の402億50百万円となりました。
- 公共債は、前年比12億26百万円減少の75億99百万円となりました。
- 生命保険は、平成25年4月よりFA(※)を増員するなどの販売強化により、前年比99億1百万円増加の1,280億37百万円となりました。

※FA=ファイナンシャルアドバイザー

(単位:百万円、%)

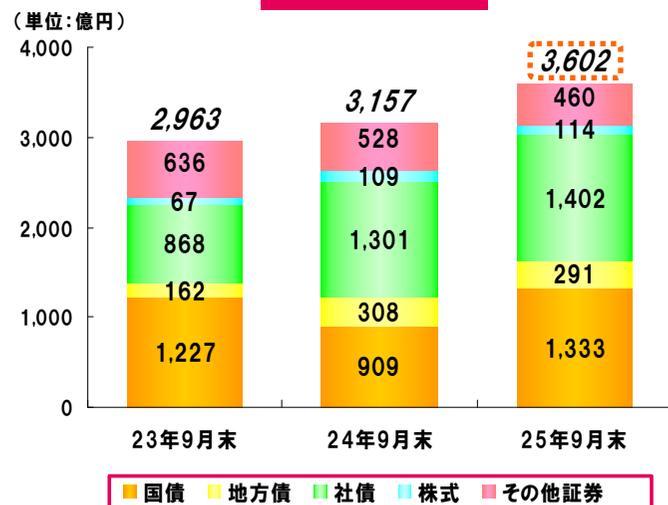
	24年9月末	25年9月末	24年 9月末比	増減率
預かり資産(未残)	59,873	68,652	8,778	14.6
うち投資信託	8,466	9,977	1,510	17.8
うち公共債(国債等)	22,762	19,695	△ 3,067	△ 13.4
うち生命保険	28,644	38,980	10,335	36.0

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

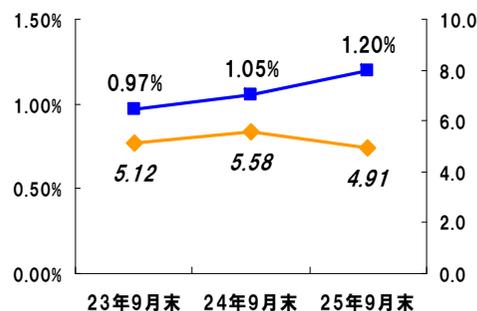
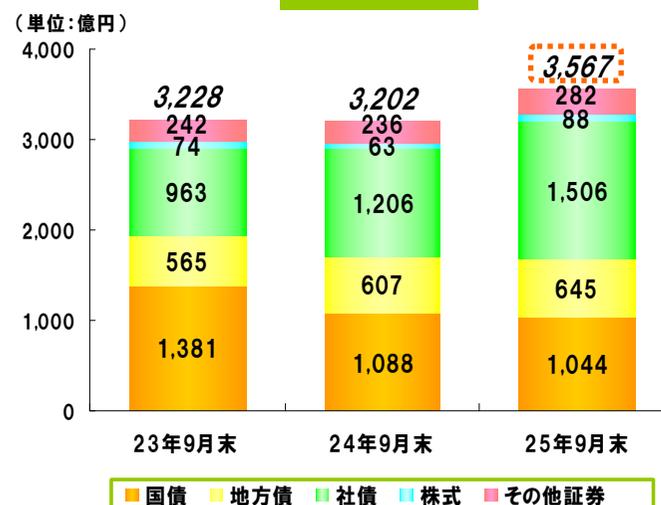
- 預かり資産残高は、前年比87億78百万円増加の686億52百万円となりました。
- 投資信託は、株価上昇に伴う販売額の増加や基準価額の上昇などから、前年比15億10百万円増加の99億77百万円となりました。
- 公共債は、前年比30億67百万円減少の196億95百万円となりました。
- 生命保険は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、前年比103億35百万円増加の389億80百万円となりました。

⑥ 有価証券の状況

(1) きらやか銀行

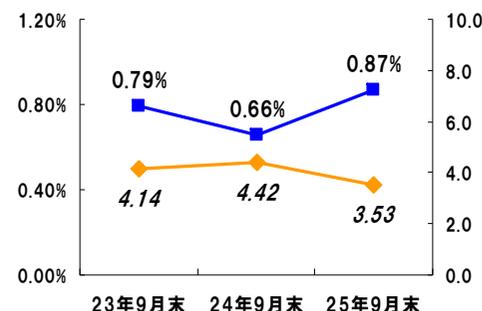


(2) 仙台銀行



その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
その他有価証券	△ 933	2,484	3,417
株式	△ 618	663	1,282
債券	2,625	2,640	15
その他	△ 2,940	△ 820	2,119



その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
その他有価証券	2,620	5,997	3,377
株式	△ 1,095	2,105	3,200
債券	4,026	3,621	△ 404
その他	△ 310	270	581

○ 有価証券残高は、預金残高が増加したことに伴い、債券を中心に運用したことから、前年比445億25百万円増加の3,602億45百万円となりました。

○ その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い前年比34億17百万円改善し、24億84百万円の評価益となりました。

○ 保有債券の修正デュレーション(固定債のみ) 4.91(前年比▲0.67)

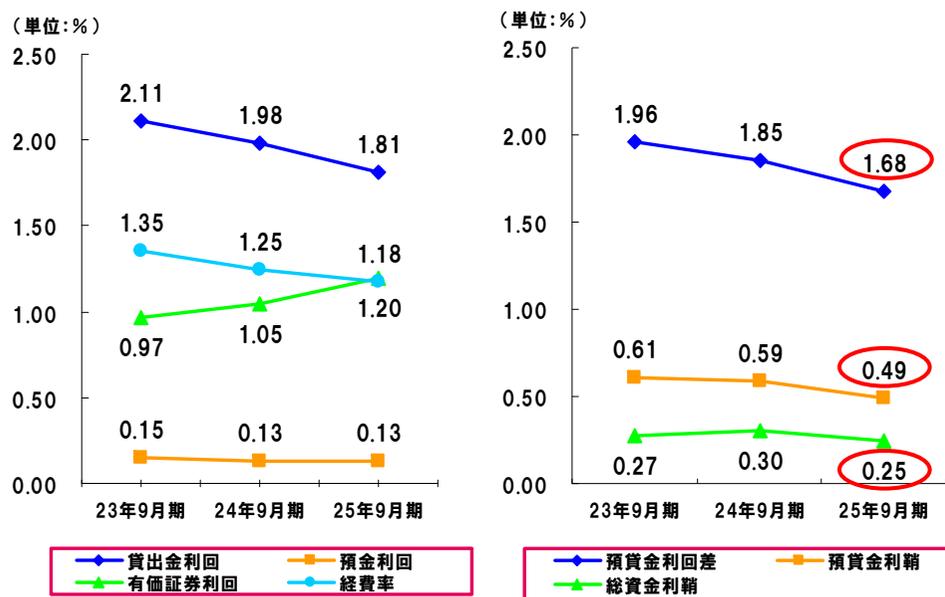
○ 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い社債や地方債等による運用額を増加したことなどから、前年比365億12百万円増加の3,567億42百万円となりました。

○ その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い前年比33億77百万円改善し、59億97百万円の評価益となりました。

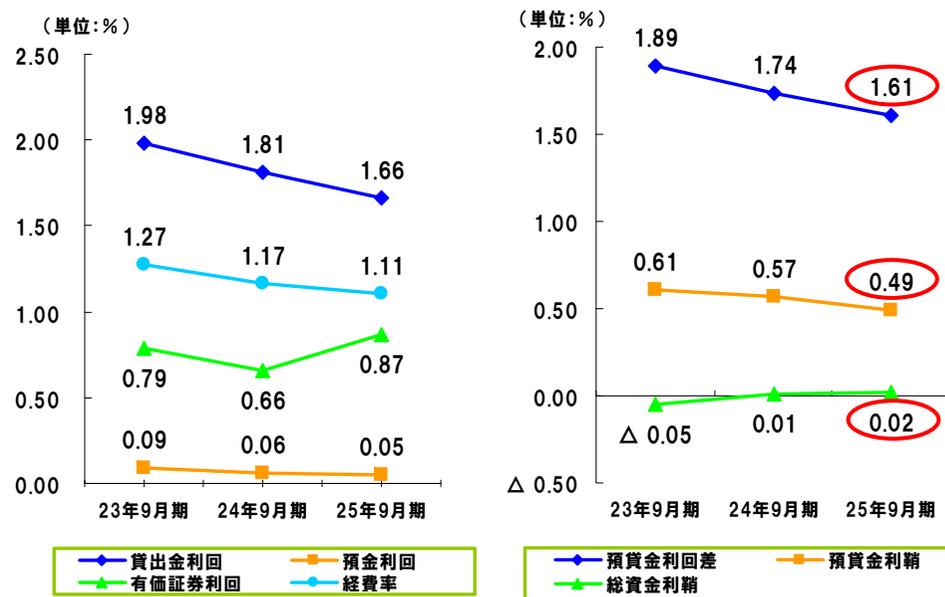
○ 保有債券の修正デュレーション(固定債のみ) 3.53(前年比▲0.89)

⑦各種利回り・利鞘の状況

(1) きらやか銀行



(2) 仙台銀行

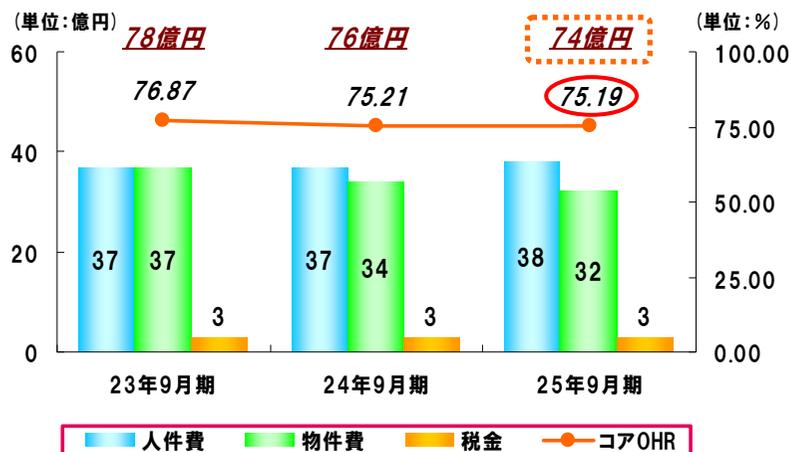


- 預貸金利回差 1.68%(前年同期比0.17p低下)
市場金利の低下により、貸出金の利回りが低下しました。預金利回りは前年同水準となったことから、貸出金利回りが低下(0.17p)した分、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.49%(前年同期比0.10p低下)
経費は減少したものの、預貸金利回差が縮小したことにより、前年同期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.25%(前年同期比0.05p低下)
資金運用利回りの低下を資金調達原価の低下でカバーができなかったため、前年同期比マイナスとなりました。

- 預貸金利回差 1.61%(前年同期比0.13p低下)
市場金利の低下により基準金利が引き下げとなり、預金・貸出ともに利回りが低下しました。預金利回りの低下(0.01p)を貸出金利回りの低下(0.15p)が上回ったことで前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.49%(前年同期比0.08p低下)
経費は減少したものの、預貸金利回差が縮小したことにより、前年同期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.02%(前年同期比0.01p上昇)
資金運用利回りの低下を資金調達原価の低下が上回ったため、前年同期比プラスとなりました。

⑧経費の状況

(1) きらやか銀行



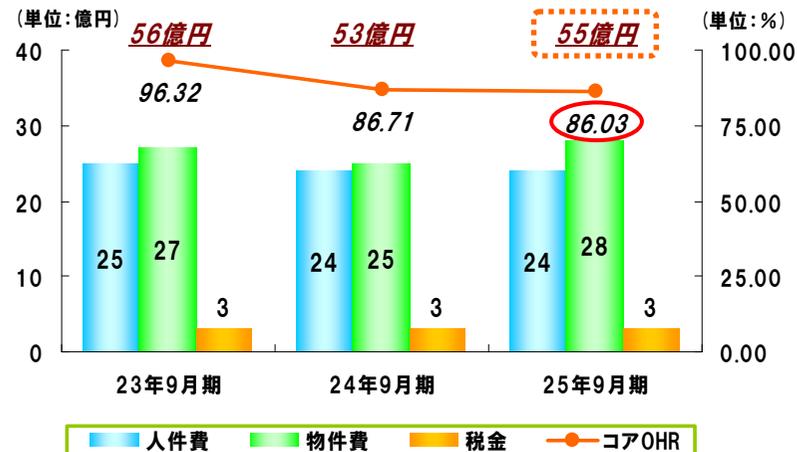
(単位:百万円)

	23年9月末	24年9月末	25年9月末
一人当たり預金	1,239	1,321	1,354
一人当たり貸出金	937	963	957
一店舗当たり預金	14,733	15,780	16,313
一店舗当たり貸出金	11,143	11,508	11,534
店舗数(店)	81	80	80
行員数(人)	963	956	964

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。
 ※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費を中心とした経費削減に努めたことにより、前年同期比1億34百万円減少の74億95百万円となりました。
- コアOHRは経費の減少等により、前年同期比0.02ポイント低下の75.19%となりました。

(2) 仙台銀行



(単位:百万円)

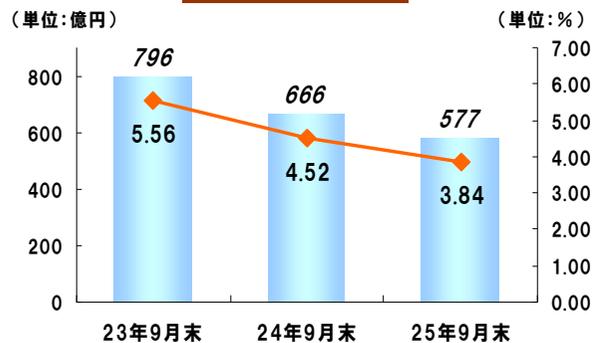
	23年9月末	24年9月末	25年9月末
一人当たり預金	1,188	1,201	1,376
一人当たり貸出金	667	708	761
一店舗当たり預金	13,753	14,747	16,703
一店舗当たり貸出金	7,723	8,698	9,242
店舗数(店)	66	61	60
行員数(人)	764	749	728

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。
 ※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、平成25年5月のシステム移行に伴う物件費の増加などから、前年同期比2億55百万円増加の55億82百万円となりました。
- コアOHRは経費が増加したものの、コア業務粗利益が増加したため、前年同期比0.68ポイント低下の86.03%となりました。

⑨金融再生法開示債権の状況

(1) 2行合算



金融再生法開示債権残高 (棒グラフ) 総与信に占める割合 (折線グラフ)

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

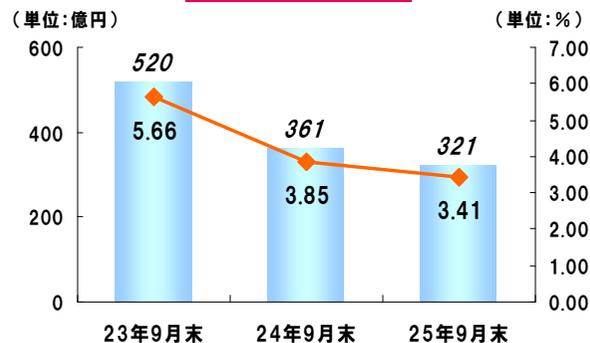
	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,739	7,630	△ 2,108
危険債権	52,049	45,969	△ 6,080
要管理債権	4,854	4,100	△ 754
合計 (A)	66,643	57,700	△ 8,942
正常債権	1,404,773	1,441,125	36,352
総与信額 (B)	1,471,416	1,498,825	27,409
(A / B)	4.52	3.84	△ 0.68

②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,630	7,630	4,491	100.00
危険債権	45,969	39,232	33,483	85.34
要管理債権	4,100	739	370	18.02
合計	57,700	47,602	38,345	82.49

- 2行合算の金融再生法開示債権残高は、前年比89億42百万円減少の577億円となりました。
- 総与信額に対する比率は、前年比0.68ポイント低下の3.84%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、82.49%となりました。

(2) きらやか銀行



金融再生法開示債権残高 (棒グラフ) 総与信に占める割合 (折線グラフ)

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

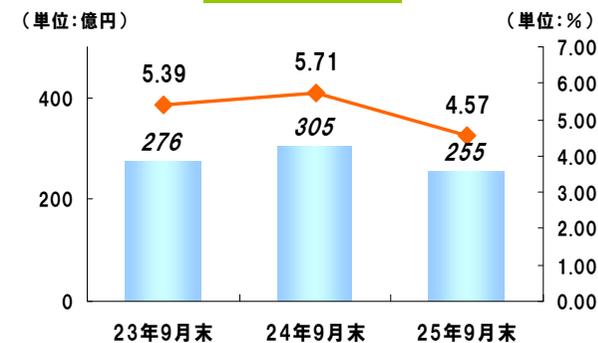
	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,353	4,856	△ 497
危険債権	26,440	23,569	△ 2,871
要管理債権	4,339	3,753	△ 586
合計 (A)	36,133	32,178	△ 3,954
正常債権	901,487	909,306	7,819
総与信額 (B)	937,620	941,485	3,865
(A / B)	3.85	3.41	△ 0.44

②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,856	4,856	2,721	100.00
危険債権	23,569	17,808	14,828	75.55
要管理債権	3,753	556	227	14.83
合計	32,178	23,221	17,777	72.16

- 金融再生法開示債権の残高は、前年比39億54百万円減少の32億78百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、前年比0.44ポイント低下の3.41%となりました。きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)も含めた比率は前年比1.18ポイント低下の3.83%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、72.16%となりました。

(3) 仙台銀行



金融再生法開示債権残高 (棒グラフ) 総与信に占める割合 (折線グラフ)

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,385	2,774	△ 1,611
危険債権	25,609	22,399	△ 3,209
要管理債権	515	347	△ 167
合計 (A)	30,510	25,521	△ 4,988
正常債権	503,285	531,818	28,532
総与信額 (B)	533,796	557,340	23,544
(A / B)	5.71	4.57	△ 1.14

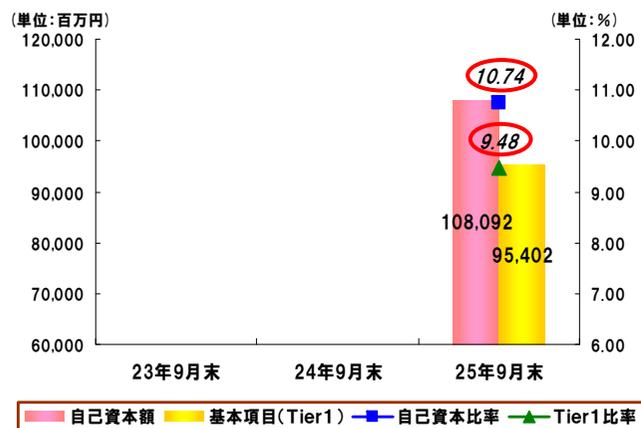
②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,774	2,774	1,769	100.00
危険債権	22,399	21,423	18,655	95.64
要管理債権	347	182	143	52.51
合計	25,521	24,381	20,568	95.52

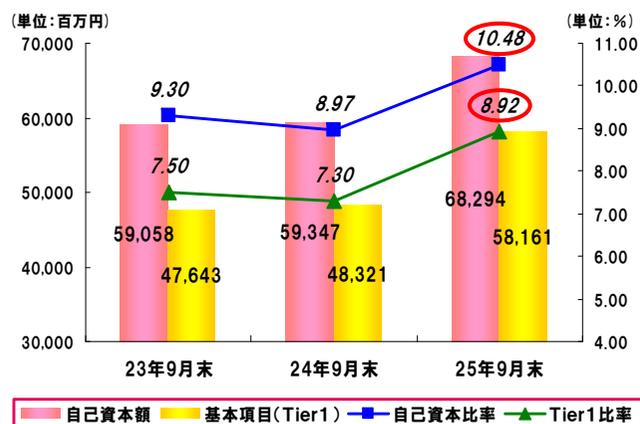
- 金融再生法開示債権残高は、一部被災企業の業況好転や約定返済などから、前年比49億88百万円減少の255億21百万円となりました。
- 総与信額に占める比率は、前年比1.14ポイント低下の4.57%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、95.52%となりました。

⑩自己資本比率の状況

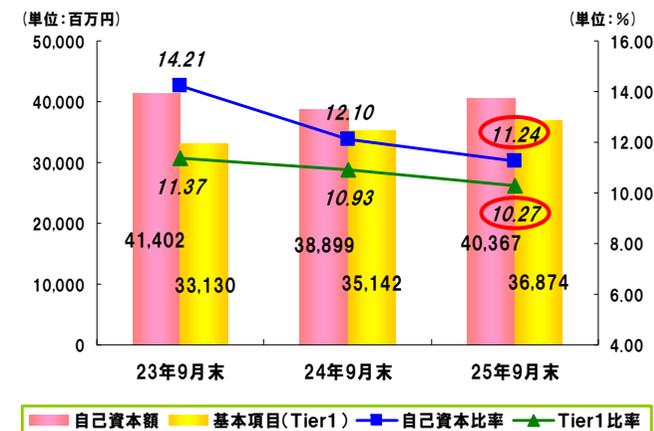
(1) じもとホールディングス連結



(2) きらやか銀行



(3) 仙台銀行



	(単位:%)				
	23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比
連結自己資本比率	-	-	10.74	-	-
Tier1比率	-	-	9.48	-	-

	(単位:%)					
	23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比	
単体	自己資本比率	9.30	8.97	10.48	1.18	1.51
	Tier1比率	7.50	7.30	8.92	1.42	1.62
連結	自己資本比率	9.33	9.12	10.67	1.34	1.55
	Tier1比率	7.51	7.44	9.10	1.59	1.66

	(単位:%)					
	23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比	
単体	自己資本比率	14.21	12.10	11.24	△ 2.97	△ 0.86
	Tier1比率	11.37	10.93	10.27	△ 1.10	△ 0.66
連結	自己資本比率	13.99	11.91	11.08	△ 2.91	△ 0.83
	Tier1比率	10.95	10.57	9.96	△ 0.99	△ 0.61

○ じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.74%、Tier1比率は9.48%となりました。

○ 単体自己資本比率は、リスクアセットが減少したことや、24年12月に震災特例の金融機能強化法に基づく資本増強を実施したことから、前年比1.51ポイント上昇し10.48%となりました。

○ 単体自己資本比率は、中間純利益18億84百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、前年比0.86ポイント低下の11.24%となりました。

⑪平成26年3月期業績予想

(1)じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	4,000	2,036
当期純利益	3,400	1,950

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円00銭	2円00銭	4円00銭
(参考)平成25年3月期	-	1円50銭	1円50銭

- じもとホールディングスの平成26年3月期の連結業績予想は、経常利益40億円、当期純利益34億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成26年3月期中間配当金は、1株あたり2円をお支払いいたします。また、期末配当金につきましては、1株あたり2円を予定しております。

(2)子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	2,200	1,143
当期純利益	2,000	1,073

仙台銀行

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	2,600	2,429
当期純利益	1,900	2,350

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益26億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

2. 両行における取組みについて

①仙台銀行のトピックス ～アクティブリスニングによる本業支援～

平成25年4月より、じもとグループの統一行動指針として「**本業支援**」を掲げ、**東日本大震災からの復興支援**にさらに取り組むべく、体制の整備と支援活動を展開しております。

本業支援の体制強化

①組織の整備

- 地元企業応援部(平成23年6月新設)の分室を、古川、岩沼、石巻、佐沼に設置
⇒本店を含む宮城県内5拠点体制で、**復興支援を継続的に実施**
- 平成25年10月に、地元企業応援部内に「**本業支援室**」を新設し、きらやか銀行との連携を更に強化
⇒**お取引先のニーズに的確かつ迅速に対応する体制を整備**

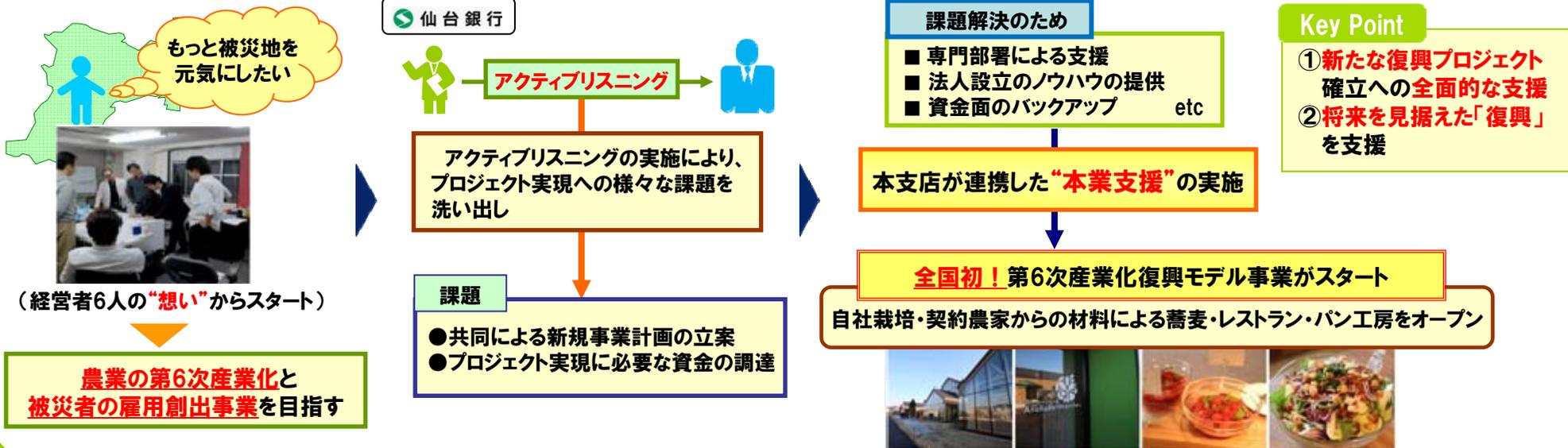
②人材の育成

- 監査法人トーマツを講師とした合同支店長研修を実施(計4回、当行から18名が受講)
- 若手行員向けの取引先支援・融資の研修の実施(計6回、48名が受講)
- 外部講師による融資研修セミナーの実施(計4回、72名が受講)

“お客様から喜んでいただき”、東日本大震災からの復興をさらに支援するべく、「**本業支援**」の取り組みをさらに強化しております。



具体的な事例

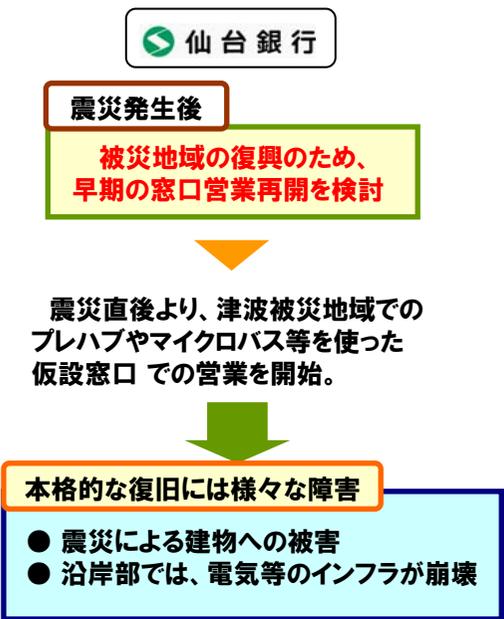


①仙台銀行のトピックス ～震災復興支援に向けた取組み～

復興支援の実績

	平成25年度上期		実績累計	
	件数	金額	件数	金額
被災者向け新規融資実行	455件	140億円	3,403件	861億円
うち事業性資金	365件	130億円	2,504件	758億円
うち消費性資金(住宅ローン等)	90件	10億円	899件	102億円
第一次産業向け融資(農業・水産業)実行	5件	1億円	62件	21億円
宮城産業復興機構の活用	5件		15件	
東日本大震災事業者再生支援機構の活用	10件		25件	
私的整理ガイドラインの活用	12件		23件	

復興支援に向けた体制



1 移動店舗での営業開始

トラックに窓口・ATM機能を備えた移動店舗を導入



移動店舗「どこでも窓口」

津波被災地区(雄勝、志津川、歌津)を巡回し、金融サービスを提供

2 被災店舗の新築・再出店の状況

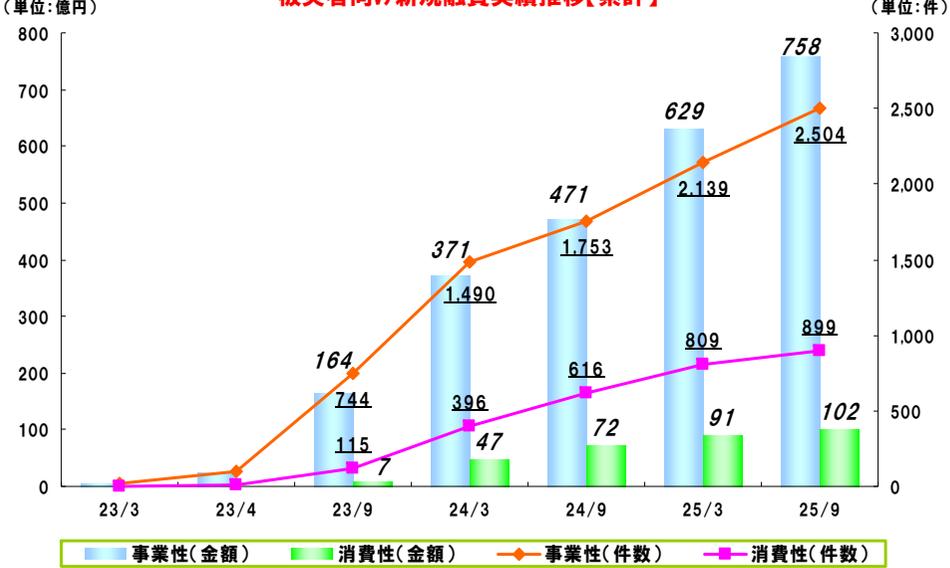
震災復興に向けて、被災店舗の新築・再出店を順次実施

- 平成25年 1月 将監支店
- 平成25年 6月 大河原支店
- 平成25年 7月 塩釜支店
- 平成25年11月 苦竹支店
- 平成26年 1月 **南三陸町へ新店舗建設(予定)**

※宮城県沿岸部の復興支援体制を更に強化



被災者向け新規融資実績推移【累計】



②きらやか銀行のトピックス ～アクティブリスニングによる本業支援～

従前より実施している「**本業支援**」をじもとグループの統一行動指針として掲げ、「**アクティブリスニング(お客様と話し、事業ニーズをお聴きする)**」を行い、共に課題を解決して行くための**組織的、継続的な活動**を法人戦略としております。

本業支援の体制強化

①組織の整備

- 平成25年4月に本部組織を再編 ⇒ 「本業支援推進部」として部へ昇格
- 仙台銀行との連携を強化 ⇒ 新たに「**仙台分室**」を**新設**し、増員した2名を常駐

②人材の育成

- 監査法人トーマツを講師とした合同支店長研修の実施(計4回、当行から81名が受講)
- 一般行員向けの取引先支援力の強化研修の実施(計7回、327名が受講)
- 外部講師による知識習得セミナーの実施(118名が受講)

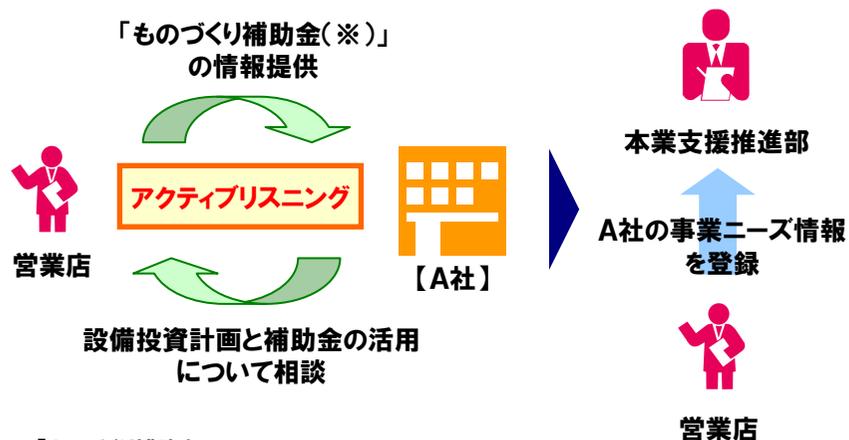
“お客様から喜んでいただく”ために、「本業支援」を徹底・進化させるべく、取組態勢の強化を実施しております。

本業支援の実績

	平成25年度 上期	平成24年度		
		上期	下期	
アクティブリスニング件数(※1)	3,173	11,678	8,061	3,617
本業支援成約件数	2,035	4,061	2,045	2,016
融資実行件数	888	1,617	827	790
融資実行金額	414億円	784億円	346億円	437億円

※1 平成24年度下期より、具体的な事業ニーズを聴き、アクションプランを策定した件数をカウントしているため平成24年度上期以前より件数が減少しております。

本業支援の具体的取組み



※「ものづくり補助金」
ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や
設備投資等を支援する事業

アクティブリスニング9日後



さらに

専門知識を有する専担者(工学博士)と連携し、事業計画の内容を精査。

採択に向けたアドバイスを実施

「ものづくり補助金」の採択決定

当行全体での採択サポート企業先 25社

Key Point

- ① 積極的な**アクティブリスニング**の実施
- ② **素早い情報提供**
- ③ 本支店が連携した**組織的(チームきらやか)**な対応



②きらやか銀行のトピックス ～子会社を活用した事業再生支援の取組み～

子会社による事業再生支援

お取引先企業の再生を徹底して支援するため、平成24年5月に「きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)」に対し、貸出債権約125億円を移管しております。

支援企業の早期の抜本的再生を目指すことで

「地域経済の安定」
「企業の事業価値の維持」
「雇用の維持」
を確保

究極の本業支援

取組状況

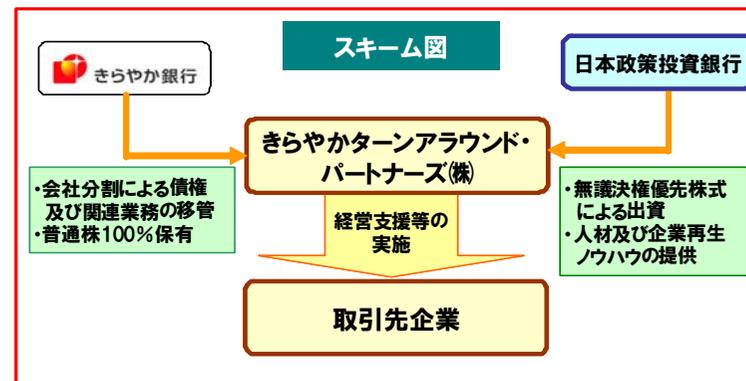
平成25年9月末現在 対象企業13社のうち、8社の再生支援が完了

◆再生支援実施による地域経済への効果

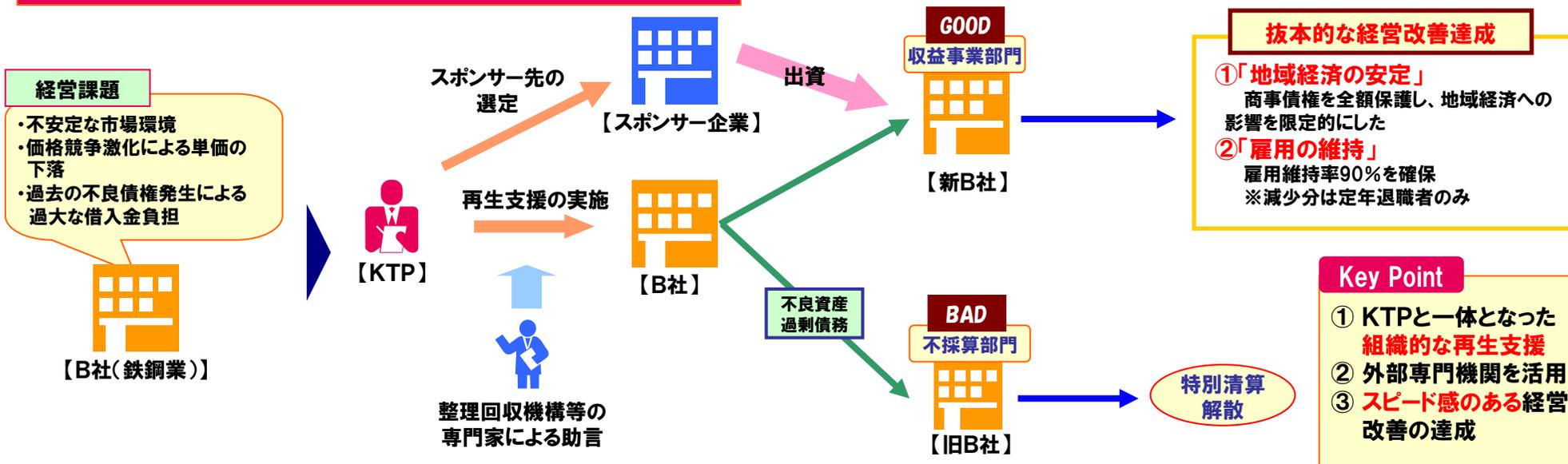
- 商事債権 1,678百万円を全額保護
- 225名の雇用維持(雇用維持率94.14%)

地域経済への影響は限定的

※きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)(KTP)とは
きらやか銀行のお取引先の事業再生を目的として設立した再生専門子会社です。
同社では、日本政策投資銀行より、資本及び人材・ノウハウの提供を受けております。



具体的な事例～第二会社方式による会社型吸収分割スキーム～



3. じもとホールディングスの取組みについて

①じもとホールディングスのグループ戦略について

【グループの特徴づくり】 = 「本業支援」の組織的・継続的な取り組み

経営方針を「本業支援」に統一

本業支援の体制強化

1. 「組織づくり」
 - ・合同支店長会議を開催し、営業戦略の周知・徹底を実施(平成25年4月、7月、10月)
 - ・両行の本部内に情報コーディネーターを配置
 ※平成25年4月よりきらやか銀行の2名は仙台に駐在し、10月より仙台銀行が新設した「地元企業応援部本業支援室」と連携、情報共有のための体制を強化
2. 「仕組づくり」
 - ・営業店からの事業ニーズに関する情報は本部の情報コーディネーターに集約
 ⇒お取引先のニーズにスピーディーに対応
3. 「人材育成」
 - ・課題解決型の人材を育成するための両行共同研修会を開始(経営統合以降、10回開催)

グループ全体で「本業支援」に取り組み、宮城と山形の情報を「つなぐ」ことで、継続して「震災復興支援」、「地域経済活性化」に取り組んでまいります。

ビジネスマッチングの実績

◆ビジネスマッチング成約件数

平成24年度下期	14件
平成25年度上期	7件
合計	21件

※9月末現在、マッチングニーズ登録データ件数 167件
 うち、候補先提示件数 19件
 うち、顧客間交渉開始件数 17件

◆主なビジネスマッチング事例

- 宮城県内の水産加工会社A社を、山形県内のスーパーマーケットB社へ紹介
- 被災地で測量設計を行う設計事務所C社に、山形県内の測量設計会社D社を紹介
- 山形県内の鉄骨工事業E社に、復興工事を手掛ける建設業F社を紹介 etc



Key Point

- ① じもとグループ全体でのニーズに合った豊富な情報の紹介
- ② 本部・営業店が連携したスピーディーな対応

②じもとホールディングスのトピックス ～協調融資による取組み～

協調融資・紹介融資の実績

(単位:件、百万円)

		平成25年度 上期	平成24年度 下期比	平成24年度 下期
協調融資	件数	9	+6	3
	金額	3,677	+1,622	2,055
紹介融資	件数	6	+4	2
	金額	517	+437	80
合計	件数	15	+10	5
	金額	4,194	+2,059	2,135

◆住宅ローン紹介(きらやか銀行⇒仙台銀行)実績 (単位:件、千円)

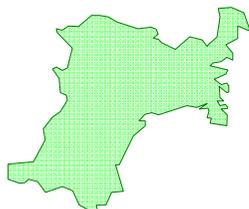
平成24年度下期	件数	24
	金額	624,500
平成25年度上期	件数	10
	金額	283,900
合計	件数	34
	金額	908,400

※宮城県内できらやか銀行の店舗が無い地区での住宅ローン情報を、仙台銀行へ紹介



具体的な事例

復旧・復興が本格化



受注工事増加

【A社】



課題

- 作業員の確保に必要な宿泊不足
- 事業拡大による運転資金の確保

相談

仙台銀行

継続的な資金サポートが必要

協調融資を検討・協議

きらやか銀行

じもとグループでの支援決定!

仙台銀行



きらやか銀行

宿泊舎建設資金の対応

今後の運転資金を継続的にサポート

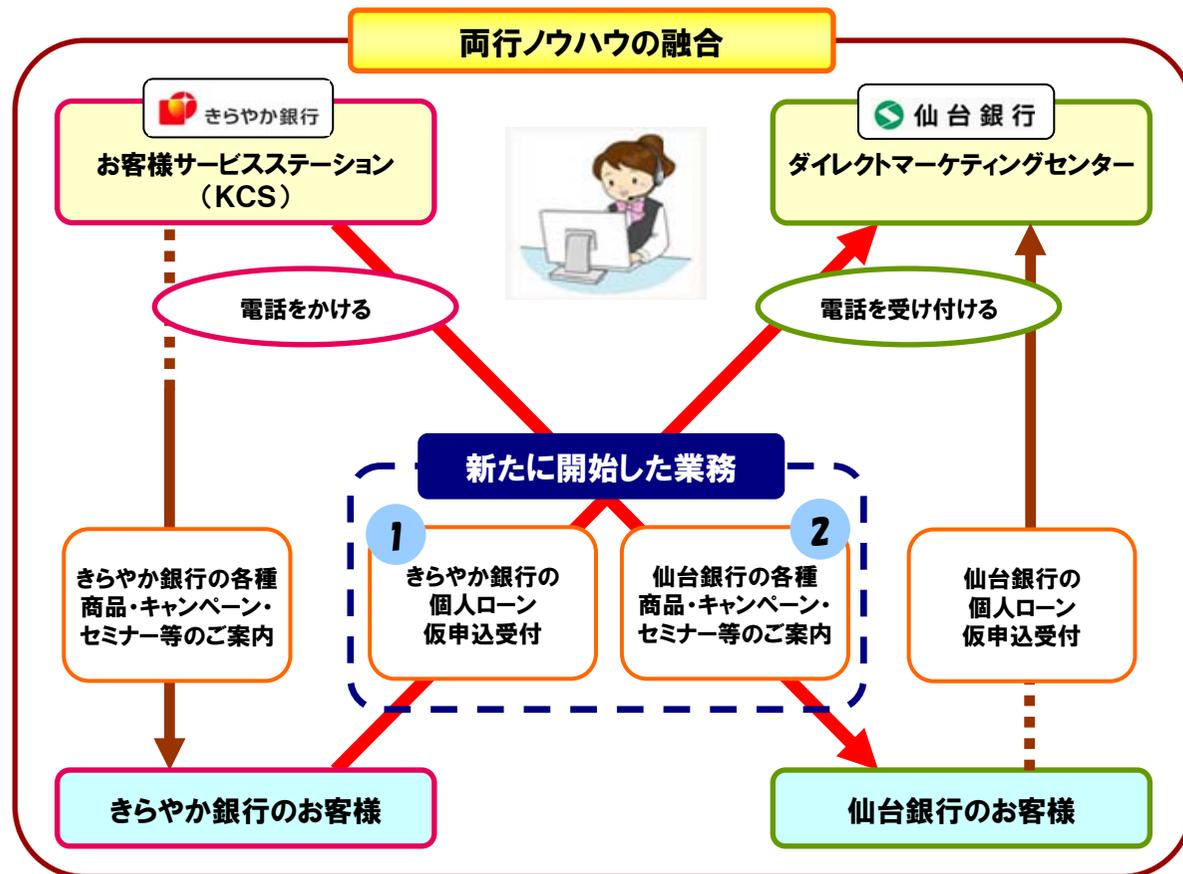
Key Point

- ① お客様の想い、悩みをよく聴き、一緒になって課題を解決
- ② 長期間の復興支援を見据えた両行連携によるサポート態勢



②じもとホールディングスのトピックス ～両行コールセンターの相互活用開始～

平成25年7月から、東北の銀行同士では初となる「銀行代理業制度」を活用した業務提携により、両行コールセンターの相互活用を開始いたしました。



7月～9月までの実績

- 1 きらやか銀行無担保ローンの電話受付
(仙台銀行・ダイレクトマーケティングセンター受託業務)

(単位:件/千円)

	受付	応諾	実行
件数	216	109	92
金額	301,460	127,030	108,770

- 2 仙台銀行のお客様へのカードローン増枠セールスコール
(きらやか銀行・お客様サービスステーション受託業務)

(単位:件)

コール件数	接続件数	確約件数
3,462	1,360	305

業務提携のメリット

- ① 両行のノウハウを活用した、グループ全体のお客様に対するサービス向上の早期実現
- ② インターネット取引に馴染みのないお客様への対話方式による最適なご提案の実施
- ③ 両行コールセンターの業務拡大にかかる、初期投資費用の抑制

今後もじもとグループでは、お互いの強みを最大限に活用したお客様の利便性向上と幅広い金融ニーズにお応えできるように努めてまいります。

②じもとホールディングスのトピックス ～両行合同での取組み～

「じもと」をつなぐ

両行顧客同士の交流会実施

じもとグループでは、お客さま同士の交流についても、積極的に取り組んでまいります。

平成25年9月、仙台銀行中新田支店のお客さまが、山形県西村山郡西川町を訪れ、施設見学や懇親会を通し、きらやか銀行間沢支店のお客さまとの交流を深めました。



宮宿支店の若手組織会が研修視察として、震災復興に取り組んでいる仙台銀行亘理支店取引先の「山元いちご農園」を訪問しました。

後日、この研修視察が「朝日町事業振興協議会」で話題となり、朝日町役場より同社代表に講演会を依頼、平成25年8月に実現しました。

講演会は約150名の参加となり、非常に盛り上がりを見せました。



両行の統一

両行女性行職員の制服を統一

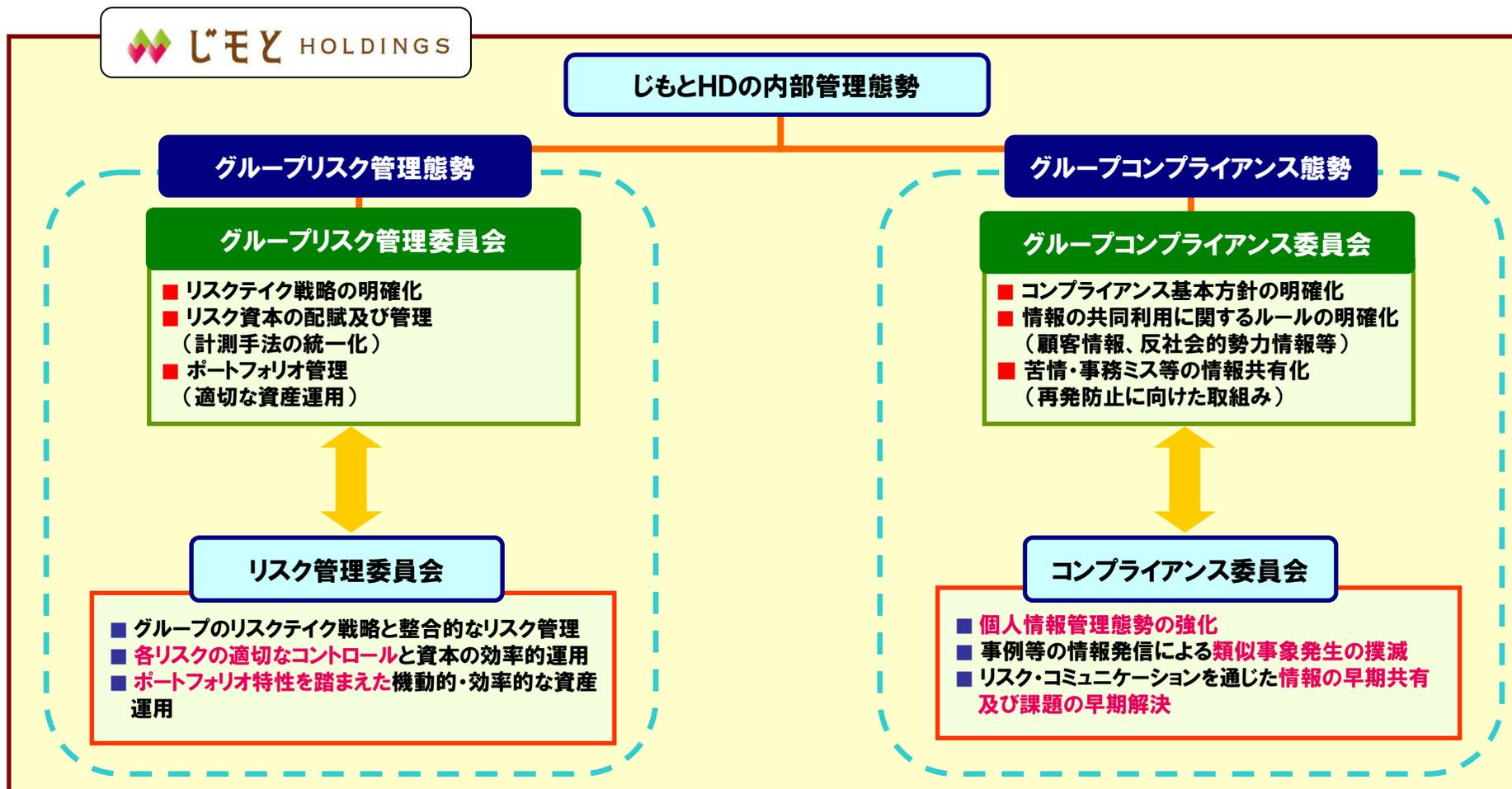
じもとホールディングス設立1周年記念事業の一環として、平成25年10月1日より女性行職員の制服を統一いたしました。

新制服の製作にあたっては、外部の監修のもと、両行行員が中心となり、グループとしての統一感を出すデザインに仕上げる一方で、両行のコーポレートカラーを使用することで各銀行の個性も発揮しております。



③じもとグループの内部管理態勢

じもとグループの内部管理態勢強化に向けて



グループ間のリスク管理・コンプライアンス態勢の統一化を実施

同一目線でのリスク管理・コンプライアンス態勢をグループ全体で構築し、更なる内部管理態勢の強化を実施

【参考】じもとホールディングスの預貸金状況(平成25年9月末)

預金(譲渡性預金含む)

【単位:億円】

	銀行	残高
1	七十七	74,099
2	東邦	45,555
3	岩手	30,274
4	秋田	24,749
5	フィデアHD	23,964
	北都	12,186
	荘内	11,777
6	青森	23,259
7	じもとHD	23,072
	きらやか	13,050
	仙台	10,022
8	山形	20,728
9	みちのく	19,146
10	北日本	13,303
11	大東	7,472
12	東北	7,432
13	福島	6,810

貸出金

【単位:億円】

	銀行	残高
1	七十七	38,735
2	東邦	25,105
3	フィデアHD	16,283
	荘内	8,695
	北都	7,588
4	岩手	15,578
5	じもとHD	14,772
	きらやか	9,226
	仙台	5,545
6	秋田	14,761
7	青森	14,721
8	山形	13,596
9	みちのく	12,643
10	北日本	8,817
11	東北	5,092
12	大東	4,557
13	福島	4,546

預金は東北地銀13行中7位

貸出金は東北地銀13行中5位

※ 本比較資料で使用している数値は、平成26年3月期第2四半期の決算短信(単体)を参考に記載しております。

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包する
ものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があること
にご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総合企画部

TEL:022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp>